行 政 視 察 報 告 書

令和　元　年　8月　1日

長浜市議会議長　松本　長治　様

長浜市議会議員　宮本鉄也 [redacted]

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1．視察等名　新しい風会派研修　　行政視察
2．視察期間　　令和元年7月25日（木）～26日（金）
3．視察場所及び目的
　①　群馬県　前橋市　・フードバンクについて
　　・陸上海水魚養殖システムについて

4．調査内容感想等

・視察の目的

フードバンク事業を成功させている全国的にも先進的な前橋市と、陸上海水魚養殖システムの最先端の事例を学び、長浜市でも取り組めるかどうかを視察研修する。

・視察の内容

前橋市では、平成29年6月1日から、まえばしフードバンク事業を開始している。NPO法人に業務委託していて、自治体が委託方式によりフードバンク事業を実施するのは全国で初めての事例となる。対象者は日々の食事を摂ることが困難な方（生活保護者を除く）や福祉目的で食堂を開設する団体など。事業開始に至る経緯として、一般的にフードバンクというと食品ロスの視点から、ごみ削減に向けた取り組みとしてのイメージがあるが、前橋では食糧支援を必要とする困窮者の自立支援施策の一つとして、

長 浜 市 議 会

福祉の視点が必要と考え検討を始め、福祉部局が実施する事業となっている。

メリットとしてこれまで相談にくることができなかった困窮者の方が食糧支援だけでも受けたいと希望するようになり、新たな支援対象者の掘り起こしにつながり、早期段階で自立支援が可能となっている。また地域で行う子供食堂などの団体に提供することにより子どもの居場所づくりにも貢献している。デメリットとして有益な事業であるが国庫補助事業の対象外であり、すべて前橋市の一般財源で賄われているため、財政負担が大きいこと。生活困窮者自立支援施策として、厚生労働省に補助金申請を行ったが採択されなかった。以上のような内容で実際のフードバンク事業の現地確認も行った。

陸上海水魚養殖システムについては、株式会社　環境技術研究所が前橋工科大学の梅津准教授の指導、助言のもと開発している。海水を浄化する技術を応用することで可能になっていて、商業化できれば画期的な取り組みとのこと。梅津准教授から説明をうけ現地視察を行った。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

フードバンク事業に関しては長浜市においては食糧支援を目的にするよりも食品ロスの観点からの取り組みの方がふさわしい。その観点から取り組んでいる自治体の視察研修を行い、長浜市でも取り組んでいけるようにしたい。

陸上海水魚養殖システムについては、長浜市において、鮎の養殖跡地の活用にならないかを考えたが、今のところ商業ベースにはまったくのらないので不可能であることが分かった。